

インテリジェントコンポTM アクティバルTM 専用 電動弁操作器 形MY5390A

■ 概 要

小形比例弁（形番VY530*）専用電動弁操作器（アクチュエータ）です。

電動弁操作器（形番MY5390A）と小形比例弁（形番VY530*）を組み合わせ、冷温水制御に使用します。簡易着脱機構を採用し、バルブとの組み付けが容易です。

本製品は、コントローラとの通信（SAnet）により、バルブ制御信号・フィードバック信号・形番・製造情報・動作履歴情報をシステムとして保持しています。設備の省エネルギー対策、メンテナンスに対して、有用な情報を提供できます。



■ 特 長

- 小形・軽量
空調機内のような限られたスペースにも設置できます。
- 簡易着脱機構
バルブ（形番VY530*）と工具なしで簡単に組み付けられます。
調整が不要です。
- IP54（防じん・防まつ構造）
空調機内に取り付けられます。
（注記）IP54を維持するために、防水コネクタが必要です。
- コントローラとの通信により、次に示す情報を取り出せます。
バルブ制御信号・フィードバック信号・製品情報・製造情報・動作履歴情報
- 補助DI/DOを搭載
微差圧スイッチ、加湿信号など近傍にある従来機器の配線を取り込むことにより、省配線を実現します。
- 手動開閉装置・開度表示付き
- ストローク90°
動作時間 60秒（50Hz） / 50秒（60Hz）

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

■ 使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に ・人体保護を目的とした安全装置 ・輸送機器の直接制御(走行停止など) ・航空機 ・宇宙機器 など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、10年です。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換など、定められた保守が適切に行われていることを前提としています。

製品の保守に関しては、保守の項を参照してください。

■ 「警告」と「注意」



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■ 絵表示



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合に表示（左図は分解禁止の例）。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示（左図は一般指示の例）。

△ 注 意



本製品の給電元にヒューズ、遮断器などの保護装置をつけてください。
短絡して火災や故障のおそれがあります。



本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付け・結線し、運用してください。
火災や故障のおそれがあります。



本製品に物を乗せたり、体重をかけたりしないでください。
損傷のおそれがあります。



アクチュエータの取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。



結線・設定・保守・交換作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。
感電や故障のおそれがあります。






アクチュエータを組み付けたときに、ロックレバーがしまっていることを確認してください。
アクチュエータが落下してけがのおそれがあります。



配線については、電気設備技術基準、内線規程などに従って施工してください。
施工を誤ると、火災のおそれがあります。

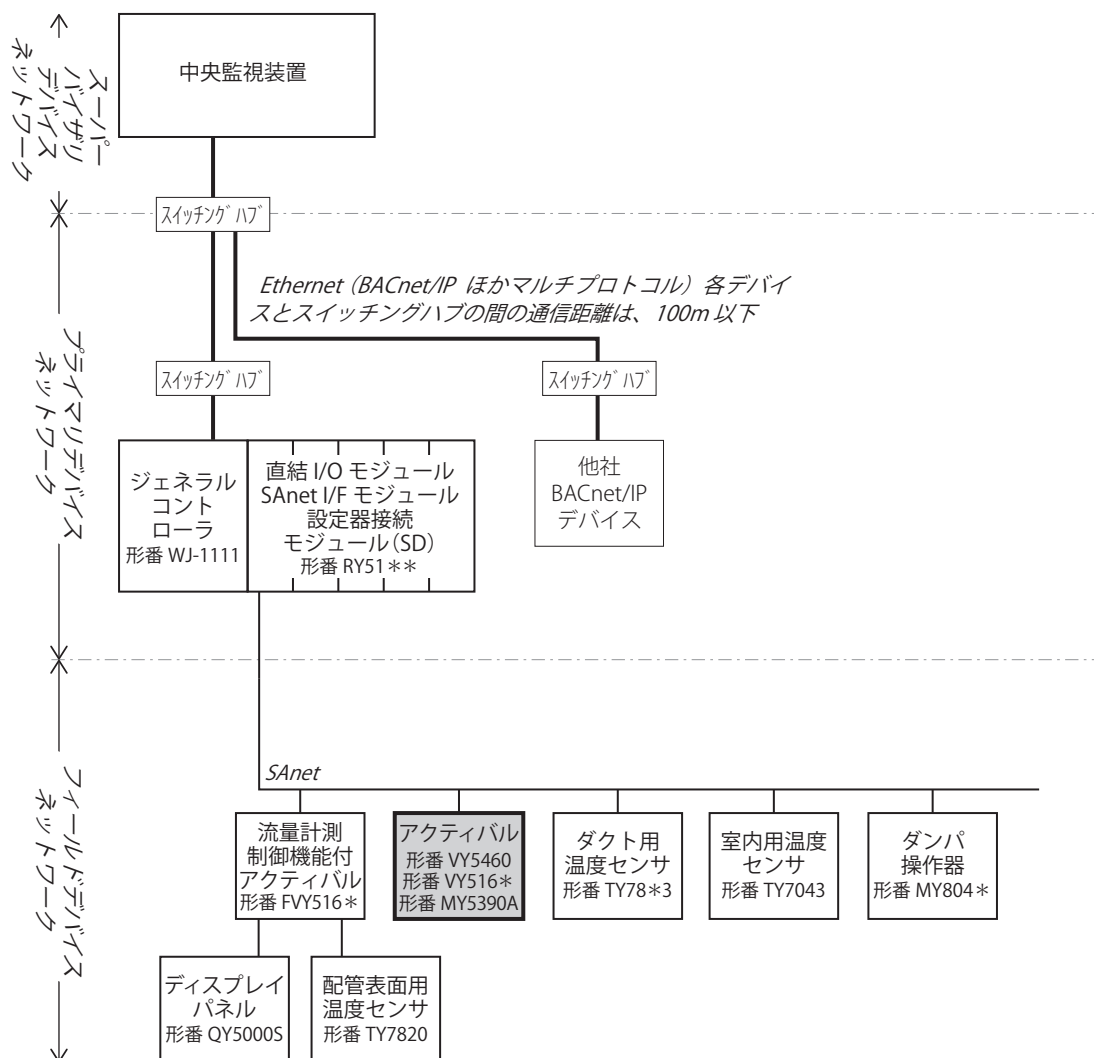


ケーブルの被覆むき長さは、本説明書に記載された寸法を守ってください。
長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡のおそれがあります。
短すぎると接触不良のおそれがあります。

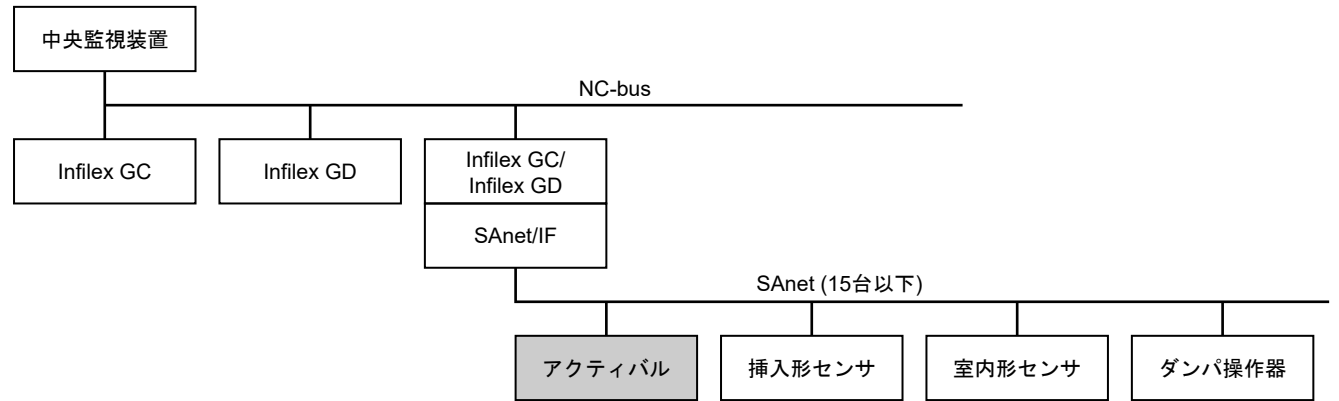
⚠ 注 意	
	結線・設定・調整・保守・交換作業後は、カバーを元に戻してください。 カバーをしないと、感電のおそれがあります。
	設定・調整作業は、出力端子へ供給される外部からの電源を切った状態で行ってください。 感電するおそれがあります。
	本製品の可動部に触らないでください。 けがのおそれがあります。

■ システム構成

● savic-net™ G5の接続例



● savic-net FX2の接続例



(注記)

- 1. 接続可能な中央監視装置については、弊社担当者にお問い合わせください。
- 2. 幹線の制約については、『AI-7456 ジェネラルコントローラ 形WJ-1111W0000 仕様・取扱説明書』、『AI-7311 汎用コントローラ Inflex GC 仕様・取扱説明書』、『AI-7312 汎用データギャザリングパネル Inflex GD 仕様・取扱説明書』を参照してください。
- 3. SAnet幹線の制約については、『AI-6713 インテリジェントコンポ (SAnet編) 施工説明書』を参照してください。

図1 システム構成例

■ 形 番

基礎 形番	アクチュエータ /バルブ		アクチュエータ		バルブ	世代	内 容
	制御 信号	定格と 材質	種別	付加 機能	ケーブル 長		
MY53							低トルク形アクチュエータ
	9						SAnet
		0					－
			A				IEC IP54（防じん・飛まつ保護） ノンスプリングリターンタイプ
				0			補助DI1点 補助DO1点
					000		ケーブルなし
					001		ケーブル長さ 60cm
					002		ケーブル長さ 3m
						－B	固定

● 別途手配品

品 名	形 番		仕 様	
防水コネクタ＊	83104346-	012	適合電線径	φ6～8mm
		013		φ7～9mm
		014		φ9～11mm
三又配線ユニット	DY7000A1000		屋外での使用は、禁止します。 (参照)『AI-6713 インテリジェントコンポ (SAnet編) 施工説明書』	
屋外カバー	83165967-001			

＊ IP54を維持するために必要です。

■ 仕 様

項 目		仕 様	
適合バルブ		形番VY530*	
電源電圧		AC24V±15% 50/60Hz	
消費電力		最大7VA（動作時）	
動作時間		60s±6s（50Hz）/50s±6s（60Hz）	
制御信号		SAnet	
接点入力 （補助DI）	入力形態		無電圧接点入力
	電圧/電流		DC20V 5mA
接点出力 （補助DO）	出力形態		無電圧接点出力
	接点定格		AC30V/DC30V 0.5A以下 起動時2Aまで
	最小適用負荷		DC24V 5mA
通信	SAnet	伝送方式	電圧伝送
		伝送速度	1200bps
		伝送距離	(参照)『AI-6713 インテリジェントコンボ (SAnet編) 施工説明書』
開度指示	形番VY5302	表示：0（全閉）～100（全開） 前方、後方、下方から確認可能	
	形番VY5303	表示：0（B-AB（Bポート開度100% 全開）） 100（A-AB（Aポート開度100% 全開）） 前方、後方、下方から確認可能	
ケース保護構造			IEC IP54（防じん・飛まつ保護）
絶縁抵抗	端子とケース間		5MΩ 以上/DC500V
耐電圧	端子とケース間		AC500V/min 漏洩電流1mA以下
工場出荷時の位置			全開
主要部材質	ケース		ポリカーボネイト樹脂（色：グレー[DIC-651相当]）
	カバー		
	ヨーク		ポリフェンレンサルファイド樹脂（色：黒）
使用環境条件	定格動作条件	周囲温度	－20～50℃（流体温度 0～100℃、流体の凍結はないこと）
		周囲湿度	5～95%RH
		振動	5m/s ² （10～150Hz）
	限界動作条件	周囲温度	－20～60℃
		周囲湿度	5～95%RH
		振動	10m/s ² （10～150Hz）
	輸送・保管条件 （梱包状態とする）	周囲温度	－20～70℃
		周囲湿度	5～95%RH
		振動	20m/s ² （10～150Hz）
取付場所	屋内 (注記) 塩害、腐食性ガス、有機溶剤雰囲気 を避けてください。		
	屋外 (注記) 塩害、腐食性ガス、可燃性ガス、有機溶剤雰囲気 を避けてください。 また、屋外カバー（別途手配）などを使用し、直射日光を避けてください。		
取付姿勢	(参照) 『■ 取付 ● 取付姿勢』		
手動動作	可 (参照) 『■ 取付 ● 手動開閉操作』		
質量	0.5kg		

● LED表示

動作状態	LED	
正常	1秒点灯、1秒消灯の繰り返し点滅	
重故障	点灯	
軽故障	1秒点灯、0.25秒消灯、0.25秒点灯、0.25秒消灯の繰り返し点滅	
初期処理中	点灯	
通信異常、または 通信異常+軽故障	0.25秒点灯、0.25秒消灯の繰り返し点滅	
調整中	0.25秒点灯、0.25秒消灯、0.25秒点灯、1.25秒消灯の繰り返し点滅	
調整中異常	0.25秒点灯、0.25秒消灯、0.25秒点灯、0.25秒消灯、0.25秒点灯、0.75秒消灯の繰り返し点滅	

■ 配線仕様

SAnet通信配線（AC24V（～）、GND（⊥）、SAnet）は、『AI-6713 インテリジェントコンポ（SAnet編）施工説明書』を参照してください。

項 目	配 線	配線長
SAnet	CVV、VCT、IV、0.75mm ² 、1.25mm ² 、2.0mm ²	—
接点入力	CVV、VCT、IV、KPEV（小勢力専用）0.75mm ² 、0.9mm ² 、1.25mm ² 、2.0mm ²	30m
接点出力	CVV、VCT、IV、KPEV（小勢力専用）0.75mm ² 、0.9mm ² 、1.25mm ² 、2.0mm ²	30m

■ 機能内容

項 目	機 能	内 容
監視機能*	データ監視	上位（中央監視システム、ジェネラルコントローラ（形番WJ-1111）、Infilex™ GC/Infilex GD）から監視・操作できるポイント ●バルブ開度設定 / 弁開度計測 / 補助DO出力 / 補助DI入力計測
	機器データ収集	上位（機器情報収集PCアプリケーション）に収集・蓄積できる情報 ●製品形番 / 製造年月日 ●通電時間 / 動作時間 / 動作回数 / 反転回数 / 開度不一致検出 / 動作不能検出 / ポテンショ異常検出 / 全閉全開異常検出 / 開度分布

* ジェネラルコントローラ（形番WJ-1111）、Infilex GC/Infilex GD、中央監視装置、機器情報収集アプリケーションと組み合わせて実現できる機能です。

■ 外形寸法

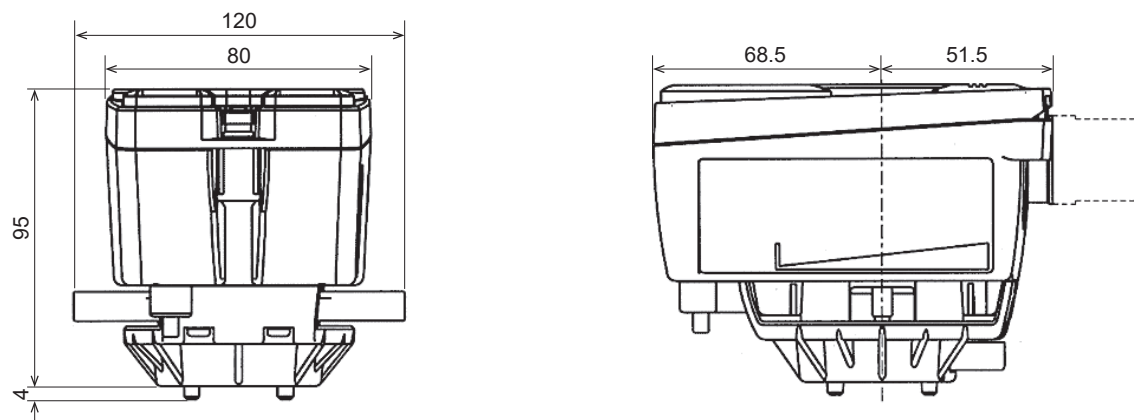
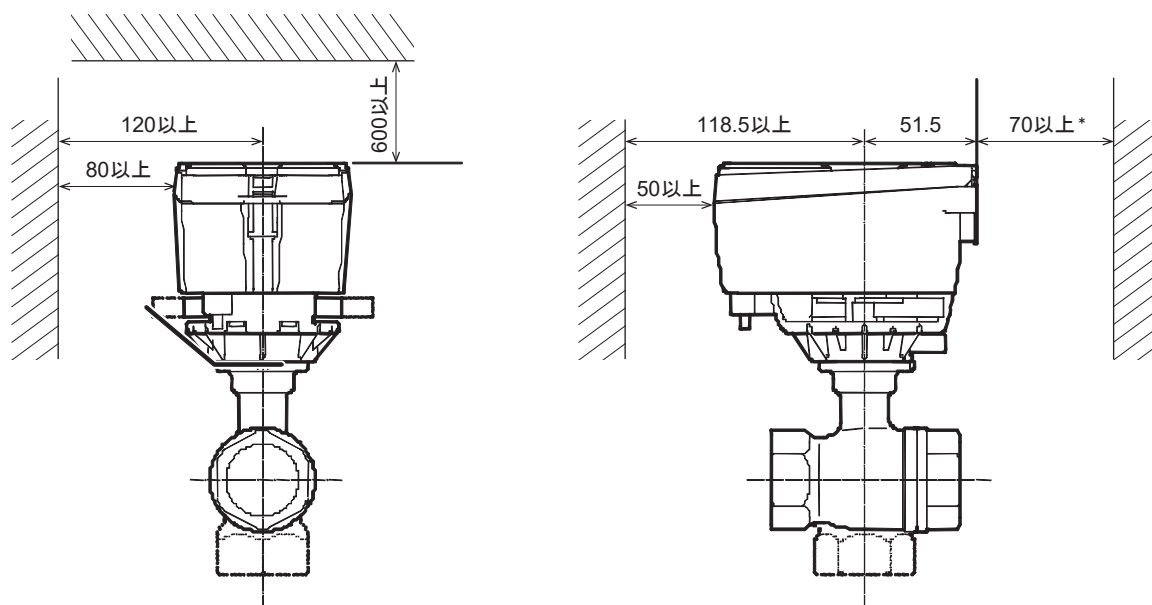


図2 外形寸法図 (mm)

● メンテナンススペース



* 三又配線ユニット使用時は、300mm以上です。

図3 メンテナンススペース (mm)

■ 各部の名称

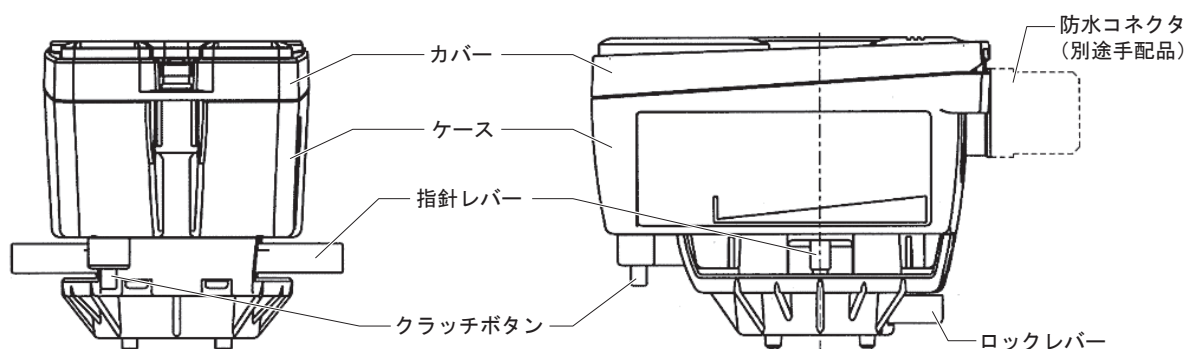




図4 各部の名称

■取 付

⚠ 注 意	
	本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付け・結線し、運用してください。 火災や故障のおそれがあります。
	本製品に物を乗せたり、体重をかけたりしないでください。 損傷のおそれがあります。

● 取付上の注意事項

本製品の故障を避けるために、次のことを守ってください。

- 本製品に衝撃を加えないでください。
- 本製品を蒸気コイルなどに隣接して取り付けしないでください。
高温の輻射を受けて、アクチュエータ部が故障する原因になることがあります。

あわせて、次のことを守ってください。

- 保守・交換を行える位置に取り付けてください。
(参照) 『■ 外形寸法 ● メンテナンススペース』
- 天井裏に設置する場合は、本製品の周囲50cm以内に点検口を設けてください。

● 取付姿勢

バルブ本体の矢印の方向に合わせて流体が流れるように取り付けることを前提にし、正立から横向き(90°傾斜)まで任意の姿勢で取り付けます。

(注記) 屋外に取り付ける場合は、正立に取り付けてください。

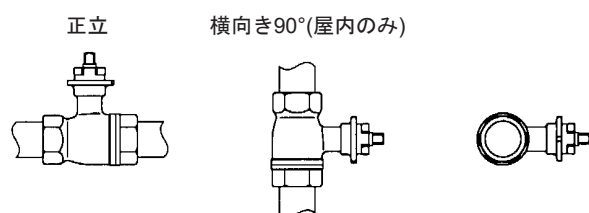


図5 取付姿勢 (良い例)

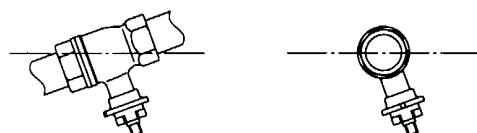


図6 取付姿勢 (悪い例)

● 工場出荷時の位置

アクチュエータ軸：全開

指針：時計方向に回りきった位置にあります。

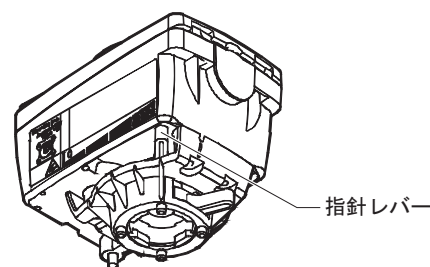


図7 工場出荷時の指針位置

● 手動開閉操作

重要 !!

- 電源を切ってから実施してください。
電源電圧が印加された状態で手動開閉すると、アクチュエータが故障するおそれがあります。
- 全開目盛り以上、全閉目盛り以下に動かさないでください。

- (1) 電源を切ります。
- (2) クラッチボタンを押しながら、指針レバーを回します。
(注記) 工具は、使用しません。

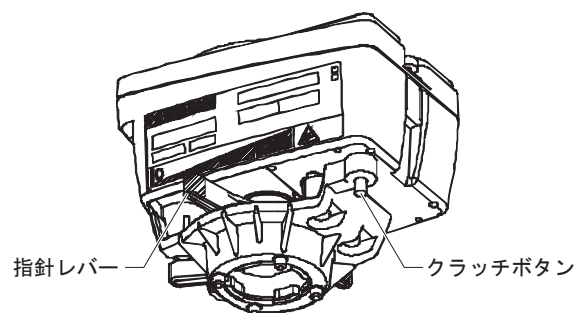


図8 手動開閉操作

● バルブへの組み付け

⚠ 注意



アクチュエータの取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。



アクチュエータを組み付けたときに、ロックレバーがしまっていることを確認してください。
アクチュエータが落下してけがのおそれがあります。

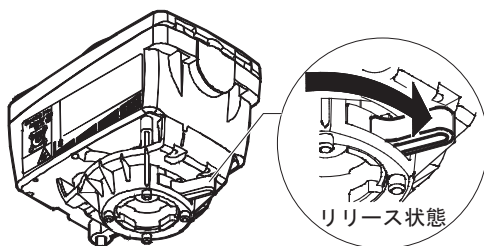
重要 !!

- アクチュエータ接続位置の変更は、バルブ開度、アクチュエータ開度が共に、「全開」の位置で実施してください。
バルブ開度とアクチュエータ開度が異なる状態で組み付けられると、バルブが全開、または全閉状態で止まっているのに、さらに回転力を生じるため、アクチュエータ内部のギアが破損します。
- アクチュエータ側
レバーが「100」の位置にあること
- バルブ側
ステム上の矢印が「100」を指していること
ステム側面の丸穴がアクチュエータ接合面にある凸部の方向に向きます。

- (1) クラッチボタンを押しながら、指針レバーを全開の位置まで動かします。

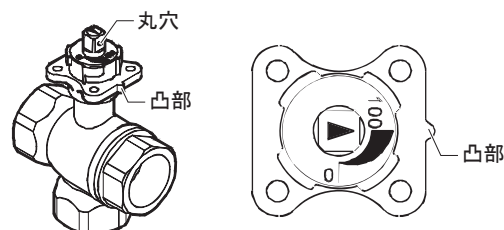


- (2) ロックレバーを「右端」まで動かします。



- (3) バルブシステムが全開の位置にあることを確認します。

バルブシステムが「100」のとき、ステム側面の丸穴がアクチュエータ接合面の凸部側に向きます。

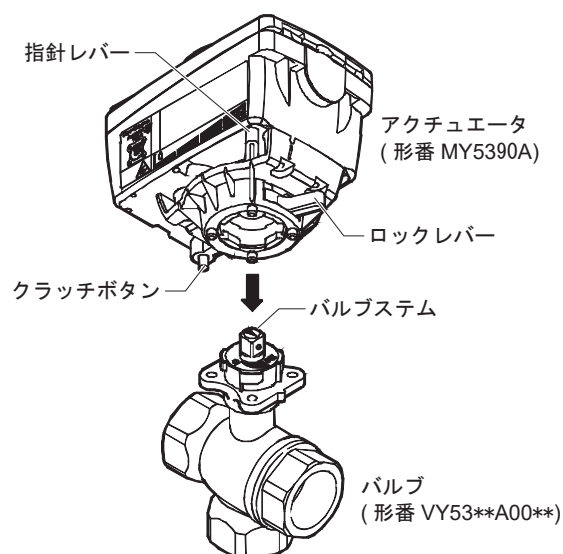


- (4) 本製品をバルブ(形番VY53**A00**)に接続します。

バルブの4つ穴に、アクチュエータの凸部を合わせてください。

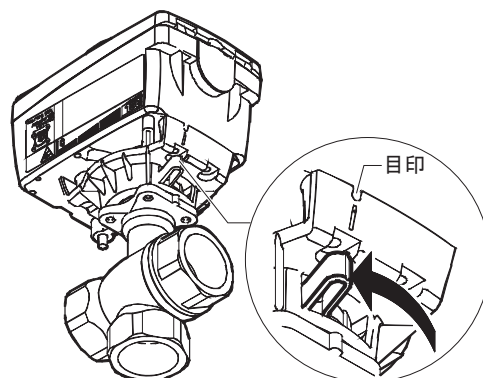
工場出荷時のアクチュエータ・バルブの開度を確認してください。

アクチュエータとバルブは、90°単位で接続できます。



(注記)動作中にクラッチボタンを押さないでください。
保温がクラッチボタンや指針レバーに当たらないようにしてください。

- (5) ロックレバーを「左端(目印)」まで動かします。



■ 結 線

⚠ 注 意	
!	本製品の給電元にヒューズ、遮断器などの保護装置をつけてください。 短絡して火災や故障のおそれがあります。
!	本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付け・結線し、運用してください。 火災や故障のおそれがあります。
!	アクチュエータの取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。 施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。
!	結線作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。 感電や故障のおそれがあります。
!	配線については、電気設備技術基準、内線規程などに従って施工してください。 施工を誤ると、火災のおそれがあります。
!	ケーブルの被覆むき長さは、本説明書に記載された寸法を守ってください。 長すぎると導電部が露出し、感電、または隣接端子間で短絡のおそれがあります。 短すぎると接触不良のおそれがあります。

重要 !!

- 本製品は、電源電圧AC24V用に設計しています。
AC24V以外の電源電圧を印可しないでください。

● IP54（防じん・飛まつ保護）を維持するために

- カバーを確実に閉めてください。
- 防水コネクタを閉めてください。
- 次の場合は、ケーブル径の適合した防水コネクタを使用してください。
 - 本体付属のケーブルを取り外し、別ケーブルを使用するとき。
 - 三又配線ユニット使用するとき。

* 防水コネクタは、『● 別途手配品』を参照してください。

● 結線上の注意

SAnetに関しては、『AI-6713 インテリジェントコンボ (SAnet編) 施工説明書』を参照ください。

- 『図9 結線端子図』を参照し、正しく接続してください。
- DO出力配線と他の配線をなるべく分離してください。
ノイズの影響を受けるおそれがあります。

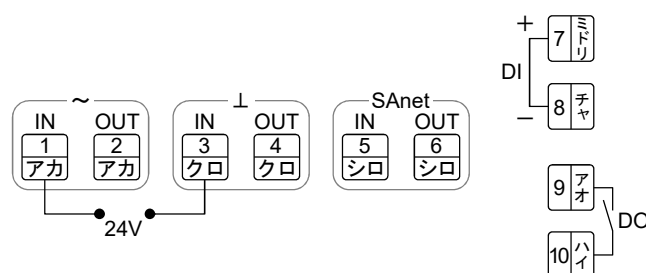


図9 結線端子図

● 結線時の準備物

- マイナスドライバ
ドライバの刃先が幅3.5mm、厚さ0.5mm程度のストレートタイプ
適合例：vessel 形番9900 (3×100)
vessel 形番910 (3×75) 相当品
(注記) 刃先から軸にかけて幅が広がるものは、端子1～6に適合しない場合があります。
- スパナ
22mm、24mm用

● 結線方法

- (1) ケースのツメ（スナップフィット）を手で押し、カバーを反対側のヒンジを支点として回転させて外します。

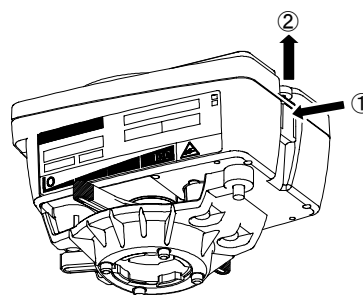


図10

- (2) ニップル部をケースに取り付けます。

- (3) ケーブルを締付キャップ、ゴムブッシュ、ニップル部の順に通します。

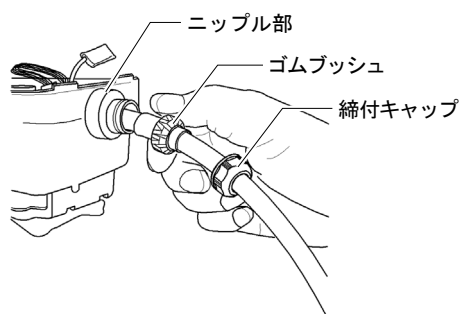


図11

- (4) リード線を端子台（端子番号1～6）に接続します。

(注記) 周辺の部品に触れないように注意してください。

リード線の被覆除去長さ：5～6mm

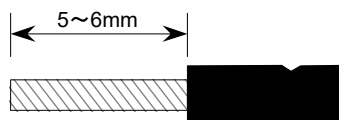


図12 端子1～6 被覆除去長さ

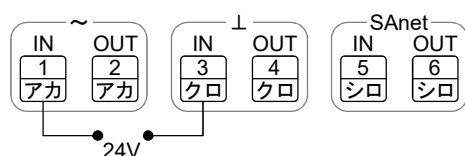


図13 端子番号1～6

- ① 小さな方の角穴にマイナスドライバを差し込みます。
- ② 傾けます。
- ③ 大きい方の角穴に電線を差し込みます。
- ④ ドライバを引き抜きます。

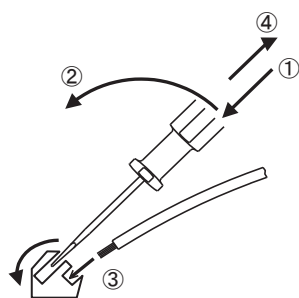


図14

- (5) リード線を端子台（端子番号7～10）に接続します。

リード線の被覆除去長さ：9～10mm

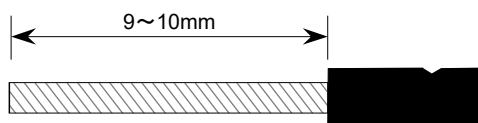


図15 端子7～10 被覆除去長さ

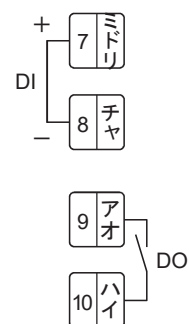


図16 端子番号7～10

- ① マイナスドライバでボタンを押し、リード線を端子台に接続します。
- ② ボタンを放します。

(注記) 端子番号7のボタンを押すときに、横のエンドプレートドライバーで強く押すと、外れる場合があります。注意してください。

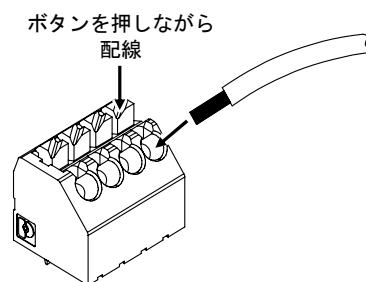


図17

- (6) 各リード線を軽く引っ張り、端子台から抜けなことを確認します。
- (7) 締付キャップをスパナなどで締め付け、内部配線をケース端面内に収めます。
(注記) 電線のヒゲが出るなど、隣同士がショートしていないか確認してください。
- (8) 手順(1)で外したカバーを閉じます。
ヒンジ（カバー後部にある2か所の凸部をケースの後部にある凹部に差し込む）を支点に、カバーを支点方向に押しながら、ツメがかかるまで回転させ閉じます。
(注記) カバーを閉じるときは、ケーブルが当たらないことを確認してください。
ケーブルがケース内に余ったまま無理にカバーを閉めると、基板などにストレスがかかり、破損する場合があります。
- (9) 手順(3)でケーブルに通した締付キャップを閉めます。


● ケーブルの取り外し

- (1) ケースのツメ（スナップフィット）を手で押し、カバーを反対側のヒンジを支点として回転させて外します。（図10参照）
- (2) 締付キャップを緩めます。
- (3) ゴムブッシュを外します。
(注記) ゴムブッシュは、取り付けのときに使用します。
保管しておいてください。
- (4) 端子台（端子番号1～6）からリード線を外します。（図14参照）
 - ① 小さな方の角穴にマイナスドライバを差し込みます。
 - ② 傾けます。
 - ③ リード線を引っ張って、端子台から外します。
- (5) 端子台（端子番号7～10）からリード線を外します。（図17参照）
 - ① マイナスドライバでボタンを押し、リード線を引っ張ります。
 - ② ボタンを放します。
- (6) ケーブルを引き抜きます。
- (7) 手順(1)で外したカバーを閉じます。

ヒンジ（カバー後部にある2か所の凸部をケースの後部にある凹部に差し込む）を支点に、カバーを支点方向に押しながら、ツメがかかるまで回転させ閉じます。

- (注記)
- 1. カバーを閉じるときは、ケーブルが当たらないことを確認してください。
ケーブルがケース内に余ったまま無理にカバーを閉めると、基板などにストレスがかかり、破損する場合があります。
 - 2. すべてのケーブルを取り外した場合は、ニップル部をケースから取り外します。
防水コネクタは、取り付けのときに使用します。
保管しておいてください。

⚠ 注意



結線作業後、カバーを元に戻してください。
カバーをしないと、感電のおそれがあります。

■ 結線例

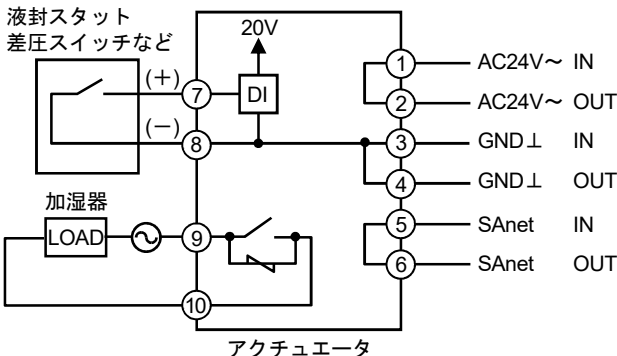




図18 基本配線例

■ 設 定


⚠ 注意




本製品に物を乗せたり、体重をかけたりしないでください。
損傷のおそれがあります。



設定作業後、カバーを元に戻してください。
カバーをしないと、感電のおそれがあります。



設定・調整作業は、出力端子へ供給される外部からの電源を切った状態で行ってください。
感電するおそれがあります。




本製品の可動部に触らないでください。
けがのおそれがあります。

● アドレス設定

SAnetインタフェースモジュール下には、電動弁やセンサ類など、複数の機器を接続します。
SAnetインタフェースモジュールが、これら機器を区別するため、機器ごとに所定のアドレスを設定します。

表1 標準的なアドレス設定*1

アドレス	本 体	補助DO/AI	補助DI
1	外気ダンパ		
2	排気ダンパ		
3	還気ダンパ		
4	全熱交換機の切替ダンパ 外気		
5	全熱交換機の切替ダンパ 排気		
6*3	冷温水弁/冷水弁		フィルタ警報
7*3	温水弁(冷水弁*2)	加湿器 ON/OFF	
8	加湿弁		
D(13)	給気温度/給気露点温度	CO ₂ センサ	
E(14)	還気温度/還気湿度	CO ₂ センサ	
F(15)	室内温度センサ/ 室内湿度センサ	CO ₂ センサ	

- *1 標準的な例を示しています。
システム構成、製品設置場所、配線ルートなどを最適にすることを優先して、アドレス付番、補助I/Oの使用個所を決定してください。
- *2 冷温水+冷水で計装する場合は、冷温水を「6」、冷水を「7」に設定してください。
- *3  部は、本製品で設定する標準アドレスです。

アドレス設定は、3つの方法があります。
用途により、いずれかの設定方法を選択し、アドレスを設定してください。

- サービスピンスイッチ
機器本体とエンジニアリングツールを使用し、アドレスを設定します。
- ロータリスイッチ
機器本体でアドレスを設定します。
- SAnet IDを利用する
エンジニアリングツールを使用し、アドレスを設定します。

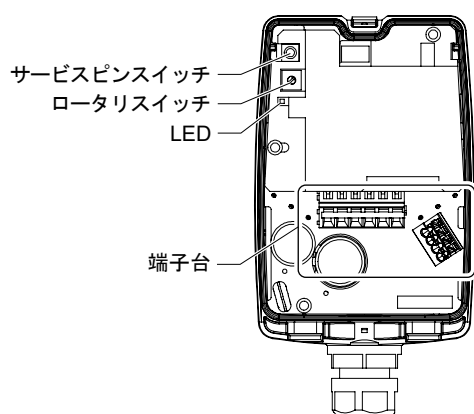


図19 端子台と各種スイッチ

「サービスピンスイッチによる設定」

- (1) ケースのツメ部を押さえながら、上面のカバーを外します。

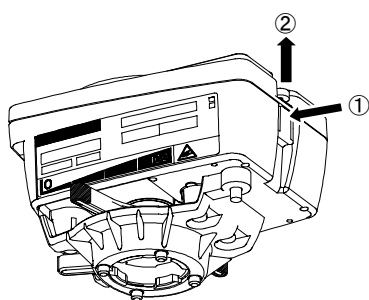


図20

重要 !!

- カバー取り外し中は、端子台に手や物が触れないように注意してください。

- (2) ロータリスイッチが「0」であることを確認します。
(注記) ロータリスイッチが「0」以外に設定されていると、アドレス設定ができません。
- (3) エンジニアリングツールでアドレス設定操作を開始します。
- (4) サービスピンスイッチを押します。

重要 !!

- サービスピンは、5秒以上の長押しをしないでください。
モードが切り替わり、ポイントトラブルが発生します。
モードが切り替わった場合は、再度サービスピンを10秒以上長押ししてください。
通常モードに復帰します。

- (5) サービスピンスイッチ押下後、5秒以内にアドレスが確定します。
- (6) カバーを取り付けます。

「ロータリスイッチによる設定」

- (1) ケースのツメ部を押さえながら、上面のカバーを外します。

重要 !!

- 端子台に手や物が触れないように注意してください。
『「サービスピンスイッチによる設定」』を参照してください。

- (2) 設定するアドレス番号に、マイナスドライバでロータリスイッチを回します。
- (3) カバーを取り付けます。

「SAnet IDによる設定」

- (1) ケースのツメ部を押さえながら、上面のカバーを外します。

重要 !!

- 端子台に手や物が触れないように注意してください。
『「サービスピンスイッチによる設定」』を参照してください。

- (2) ロータリスイッチが「0」であることを確認します。
(注記) ロータリスイッチが「0」以外に設定されていると、アドレス設定ができません。
- (3) SAnet ID番号を確認します。
SAnet ID番号は、アクチュエータ側面のラベルに記載されています。
- (4) エンジニアリングツールでアドレスを設定します。
- (5) カバーを取り付けます。

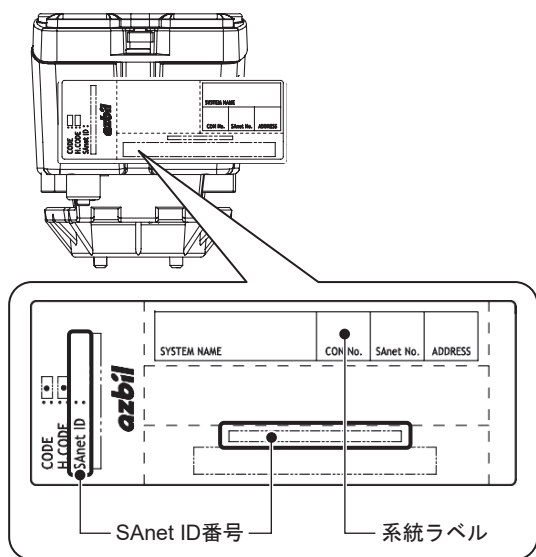


図21 ラベル

● 系統ラベル

系統や機器のアドレス番号などの情報を記載したラベル（系統ラベル）を任意の場所に貼り付けられます。

系統ラベルは、本体の側面にある銘板と一体になっています。使用時は、切り取り線に沿って切り、機器本体の見やすい位置に貼り付けてください。

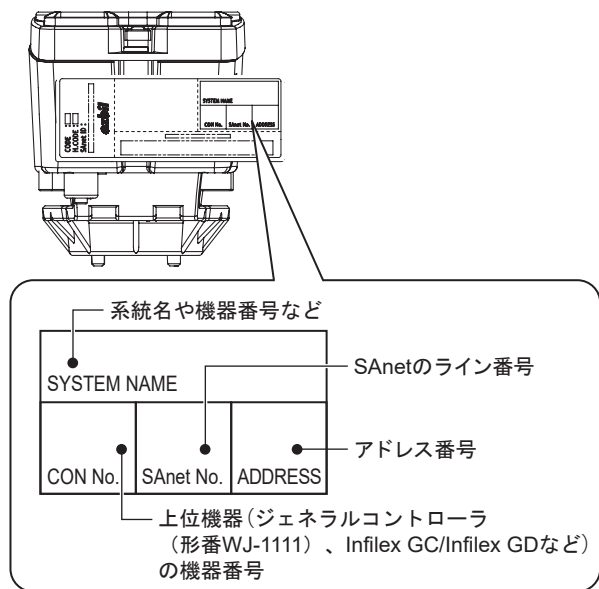


図22 系統ラベル

重要 !!

- 系統ラベルは、ほこりや水気、油分などがなくきれいな場所に貼り付けてください。
- 貼り付けるときは、上から十分に押さえつけ、全面を密着させてください。

■ 調整モード

⚠ 注意	
	本製品に物を乗せたり、体重をかけたりしないでください。 損傷のおそれがあります。
	調整作業後、カバーを元に戻してください。 カバーをしないと、感電のおそれがあります。
	設定・調整作業は、出力端子へ供給される外部からの電源を切った状態で行ってください。 感電するおそれがあります。
	本製品の可動部に触らないでください。 けがのおそれがあります。

調整モードで作業をすると、『表2 調整モード中のロータリスイッチ動作』に示すような動作ができます。

* 本製品におけるサービスピンスイッチとロータリスイッチの位置については、『図19 端子台と各種スイッチ』を参照してください。

- (1) サービスピンスイッチを10秒間長押しします。

(2) 調整モードに入ります。

(3) 目的の動作番号まで、ロータリスイッチを回します。
- 精密マイナスドライバを使用してください。

表2 調整モード中のロータリスイッチ動作	
ロータリスイッチ番号	動作
0	リスタート (通常モードに戻る)
2	開度0%
4	開度50%
6	開度100%
E	ポテンショ自動調整開始

- (注記)
1. 『表2 調整モード中のロータリスイッチ動作』にないロータリスイッチ番号を設定しないでください。

2. 本製品はユニット交換です。
「E」の機能は、使用しません。

(4) 目的の動作番号までロータリスイッチを回してから3秒後に、動作を開始します。

(5) 再度サービスピンスイッチを10秒長押しします。

(6) 通常モードに戻ります。
- (注記) アドレスをロータリスイッチで設定している場合は、「通常モード」に戻したあと、ロータリスイッチの位置を設定されていたアドレスに戻してください。

■ 保 守

⚠ 注 意



本製品に物を乗せたり、体重をかけたりしないでください。
損傷のおそれがあります。



保守作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。
感電や故障のおそれがあります。



保守作業後、カバーを元に戻してください。
カバーをしないと、感電のおそれがあります。



本製品の可動部に触らないでください。
けがのおそれがあります。

- 配管後、長期間の休止状態になるときは、1か月に1回程度本製品を開閉させてください。
- 『表3 点検項目と方法』に従って、点検してください。
- 6か月に1回くらいの頻度でバルブ外部への流体漏れの有無と、アクチュエータの動作を目視点検してください。
『表4 異常時の処置』における異常が発生していた場合は、その現象に応じて確認してください。
処置を講じても異常現象が解決しない場合は、弊社担当者に連絡してください。

表3 点検項目と方法

点検項目	点検周期	点検方法
外観チェック	6か月	<ul style="list-style-type: none"> ● グランド部、配管接続部からの漏れのチェック。 ● ロックレバーのゆるみがなく、バルブに組み付いているか。 ● アクチュエータの損傷チェック。
運転状態	6か月	<ul style="list-style-type: none"> ● バルブの開閉がスムーズに行われているか。 ● 異常な騒音、振動がないか。
日常点検	随時	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常な騒音、振動がないか。 ● バルブの開閉がスムーズに行われているか。 ● バルブのハンチングはないか。

表4 異常時の処置

異常現象	点検箇所	処 置
バルブの動作がスムーズではない。 途中で止まる。 動かない。	電源/入力信号の印加信号状態。 配線の状態/断線。 異物かみ込み。	電源の確認。調節器の確認。 配線の確認。 手動開閉による異物の除去。
開度0%時に漏れがある。	指示針の開度0%状態。 『取付』の項を再確認。	開度0%にする。 (参照)『AI-6713 インテリジェントコンポ (SAnet編) 施工説明書』
異常な騒音・振動がある。	一次側の圧力状態。 差圧状態。	設置条件を修正する。
バルブのハンチング	二次側の圧力状態、差圧状態。 制御の安定性。	設置条件の修正。 コントローラの制御パラメータ PIなどの設定修正。
電動操作にて開度0%にならない。		弊社担当者に連絡してください。
流水騒音		ポンプ送り圧と配管手続図から各ポイントに おける圧力状態の検証および 形VY53の騒音 資料による検証。
アクチュエータからの動作異音		弊社担当者に連絡してください。
通信異常		(参照)『AI-6685 インテリジェントコンポ SAnet編 調 整説明書』

■ 廃 棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。
また、本製品の一部、または全部を再利用しないでください。



本製品は、以下のElectromagnetic Compatibility Directive (EMCD)に適合しています。

EMCD : EN 61000-6-2

EN 55011 Class A, Group 1

* Inflex、savic-net、アクティブバル、インテリジェントコンポはアズビル株式会社の商標です。

* Ethernetは、富士フイルムビジネスソリューション株式会社の商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。